

「私の夢は大人になるまで生きること」11月号

～「こころの扉」を少し開いてみませんか～

平成元年11月、国連総会で全
ての子どもの人権を守るための
「子どもの権利条約」が採択され
ました。この条約では、子どもの
「生きる・育つ・守られる・参加
する」権利を保障しています。

しかし、子どもを取り巻く環境
には厳しいものがあります。令和
7年8月に出された国連パレスチ
ナ難民救済事業機関の調査結果に
よると、パレスチナ自治区ガザの
中心都市で急性栄養失調と診断さ
れた5歳未満の子どもの数が、7
月下旬は、3月上旬に比べ3倍以
上に増えたとする結果を明らかに
し「このままでは前代未聞の人災
による飢饉が現実となってしまう」
と強い懸念を表明しました。

以前『あなたの夢はなんです
か?』（池間哲郎・著）の中で
「私の夢は大人になるまで生きる

ことです」と答えた少女の夢を読み、
強い衝撃を受けました。世界には、
貧困や紛争、飢餓という厳しい状況
の中で、大人になるまで生きられな
い多くの子どもがいます。1日に約
1万3千人もの子どもたちが、5歳
の誕生日を迎えることなく亡くなっ
ているのです。また、児童労働、児
童虐待、人身売買など、子どもの尊
厳を踏みにじる行為も後を絶ちませ
ん。国内でも、いじめや虐待により、
心も体も傷ついて、夢や希望を持て
ず命を落としてしまう子どももいま
す。厚生労働省によると令和6年の
小中高生の自殺者数は529人で、
昭和55年以降最多だったそうです。
国の内外を問わず、かけがえのない
命が脅かされています。

子どもには笑顔を忘れず、幸せに
なっただけでいいと願わない親はいませ
ん。貧困や紛争の解決は簡単ではな

いですが、次世代を担う子どもたちが、
命を輝かせ未来の夢を語れる社会をつく
ることが、私たち大人の努めだと思いま
す。

